

卒業しました！

ゲーム作りに熱中！
資格ゲット！
部活に全力投球！
やりたい仕事に就けたよ！
子育てママでも卒業できた！

第15回学位記授与式(卒業式)は、平成28年3月18日本学体育館においてとり行われました。今年は計112名(学部生108名、大学院博士前期課程4名)がそれぞれの道へと飛び立って行きました。今年の式典では、創部2年目で第60回九州吹奏楽コンクール金賞に輝いた本学吹奏楽部が屋比久勲先生(本学教授、音楽監督、常任指揮者)の指揮のもとで、素晴らしい演奏を行い、ムードをグッと高めてくれました。それでは四年間の結晶である学位記(卒業証書)をめめでたく手にした卒業生の声をお届けしましょう。

▼江崎 愛(えざき あい)さん 情報ネットワーク学科 合田ゼミ

一卒業おめでとうございます。

ありがとうございます。これでひとつの区切りをつけることができましたので、ホッとしています。

一あなたは卒業生を代表して、「謝辞」を述べましたね。落ち着いて、とても素晴らしいかったですよ。

いえいえ(苦笑)…実は大変緊張していたんですよ。謝辞の内容は、なるべく自分で考えたんですけど、情報らしいものにしようと思って、ツイッターやフェイスブックなどSNSの現状や将来についても少し話してみました。

一ご苦労様でした。ところで情報大での思い出を話してくれませんか？

2年生の時の基礎ゼミで、ゲームアプリを製作したことです。担当の先生は合田和正先生(准教授)と和田梯先生(准教授)でした。ゼミでは3つのチームに分かれて、それぞれ共同作業でゲームアプリを製作するのですが、とても楽しかったですよ。

一どんなゲームですか？

RPG(ロールプレイングゲーム)の学園モノです。ゼミの先生たちを敵に設定して倒していくストーリーです。

一それはユニーク(笑)！ だけど先生たちは怒らなかった？

大丈夫、普段から仲がいいですから(笑)。笑って許してくれました。



一専門ゼミ(3年次・4年次)は合田先生のゼミですね。



でやりたいことができました。

はい。ゲームの製作に本当に熱中していました。合田先生からはプログラミングなどについてアドバイスをいただきました。ゼミはとても自由で楽しいムード。ゲームの製作は以前からとても興味があったので、情報大

一印象に残った授業は？

福永純三先生(名誉教授)の「マネジメント科学」や「マネジメントゲーム」です。経営の方向性についてのシミュレーションをプログラミングするんですけど、経営学と情報学を合わせた情報大ならではの授業でした。

一あなたは資格取得にも熱心でしたね。

そうですね。漢字検定2級、MOS(マイクロソフトオフィススペシャリスト)、そして基本情報技術者試験に合格しました。

一基本情報技術者試験は実際に受験してみてどうでしたか？

ちょっとやっかかったです(笑)。試験は午前と午後に分かれていますのですが、最初に受けたときは午後の部で不合格だったんです。そのあと自分なりに一生懸命勉強して、次は合格しました。

一それは良かったですね。ところで就職は？

株式会社アステムに決まりました。会社は福岡市博多区にあります。業務はコンピュータネットワークの運営・保守などです。私も技術職として、ネットワーク開発などに携わることになります。まさしく情報大で学んだことを生かせる仕事ですよ。四年間勉強してきた良かった～って実感しています。



4月には、社員として来学して、1年生へパソコン指導

一最後に情報大をひと言で表すとしたら？



合田准教授と学位記授与式後に

小さな大学だから先生たちとの距離感がないですね。大学の先生って近寄りやすいイメージがありますが、情報大の先生は皆さんとってもフランク。だから話の合う先生がきっと見つかりますよ。私たちも合田先生とゲームの話でいつも盛り上がっていました。

一ありがとうございました。

▼一番ヶ瀬 史歩 (いちばかせ しほ) さん 経営情報学科 フリンゼミ

—卒業おめでとうございます。今の気持ちは？



フリン教授と学位記授与式後に

私は3年次編入ですから卒業まで2年間しかなくて、時間が過ぎるのが本当に早かったですね。もうちょっと情報大の学生でいたかったなーと思います。

—情報大は居心地が良かったですか？

はい！楽しい学生生活でした。小さな大学だからとってもアットホーム。すぐにみんなと友達になれました。学生どうしてなんでも話せるし、先生も気軽に声をかけてくれましたね。友達が福岡の大きな大学に通っていましたが、なかなか友達ができなくてさみしい思いをしたって言っていました。だから情報大に入学して良かったですね。

—情報大に入学した理由を教えてください。

もともと英語に興味があって海外留学を希望していました。だから福岡外語専門学校では、英語を一生懸命勉強して英検2級に合格したり、TOEIC675点を取りました。だけど就職のことを考えたら専門学校卒業だけだとちょっと不安ですね。四年制大学を卒業しておいたほうが有利だと思ったので専門学校の先生に相談したら、情報大の3年次編入制度を紹介されたんです。それでいろいろ調べたら、情報大は経営・会計・情報のそれぞれを幅広く学べるし、英語や中国語、韓国語など語学教育も重視していることが分かったので、私の学びたい方向とピッタリ！と思って受験することを決めました。

—印象に残った先生、授業は？

やっぱりゼミのクリス・フリン先生（教授）ですね。フリン先生の英会話の授業はとても実用的で、ネイティブが使う英語表現を使って会話の練習をしました。フリン先生に出会えて、英語の勉強をすることがさらに楽しくなりましたよ。



金山吉野国際司法書士事務所にて

—就職は決まりましたか？

「金山吉野国際司法書士事務所」に採用されました。オフィスはJR博多駅の近くにあり、すでに2月からフルタイムで朝の9時～6時まで働いています。まだ研修中ですけどね。

—仕事の内容は

いまのところはさまざまな権利関係の文書作成のアシスタントをしています。ときどき翻訳の仕事もあるんですよ。

—それはすごいですね。どんな文書を翻訳したんですか？

このあいだは外国人向け旅客船ツアーのパンフレットに掲載されている定款（ていかん：ツアーの契約、ルールなど）を日本語から英語に訳しました。英語を使った仕事をしたかったので、まかせてもらってとてもうれしかったですね。

—自分のやりたい仕事ができよかったですね。ところで大学生活の思い出は？

育児と学業を両立できたことです。私にはいま7歳の子供がいるのですが、情報大に入学した時はまだ保育園に通わせていました。朝に子供を送ってから大学に行って、授業を終えて夕方に子供を迎えに行く生活でした。忙しかったけど充実していましたね。大学の先生方の励ましもあってなんとか乗り切ることができました。私の場合3年次編入だったので、履修する科目が少なかったこともうまく両立できた理由なのかもしれませんね。

—情報大は社会人を積極的に受け入れているんですよ。

特にわたしのように勉強したいなと考えている子育てママはけっこういるんじゃないかって思うんです。そういう人には情報大はおススメですね。

—ありがとうございました。

▼波呂 竜也 (はろ たつや) さん 情報ネットワーク学科 栖原ゼミ



栖原教授と学位記授与式後に

—卒業おめでとうございます。

無事に卒業できてホッとしています。ボクは短大を卒業して、コンピュータをもっと専門的に勉強したいと思って3年次に入学しました。情報大で勉強したのは2年間でしたが、コンピュータやソフトウェアなどをより詳しく勉強できました。とても密度の濃い2年間でしたね。

—情報大での思い出は？



つい最近1月の大雪です。あんなに降ったのは初めて見ました。とても印象に残っています。特に雪景色の太宰府天満宮は本当にきれいです。雪がしんしん降るなか、静かな参道を歩いていると、つい物思いにふけりたくまりました。

—印象に残った授業は？

坂上宏先生（教授）の「政治学」ですね。古代ギリシャの政治哲学などについての講義でした。いままでコンピュータの勉強をしてきたボクにはあまり馴染みのない内容でしたが、それだけに新鮮でした。社会に出ていくうえで、文系だとか理系だとかあまり線を引き考える必要はないと思うんです。哲学のようないますぐ実際に役に立つわけではない学問でも、哲学を学んでそれを広い意味で情報に生かせるような姿勢が大事だと思うんです。



—なるほど～

ですから必要のない授業はないと思いますよ。情報大では文系・理系かかわらず幅広くいろんなことを学べますから、新入生の方々には選り好みせず勉強してほしいですね。それが長い人生でプラスになると思います。

—専門ゼミ（3年次・4年次）では何を勉強しましたか？

栖原淑郎先生（教授）のもとで、情報システムの開発と管理について学びました。先生からは多くのアドバイスをいただいたので、今後の仕事の中で生かしていきたいです。

—就職について教えてください。

九州地理情報株式会社に入社します。会社は福岡市東区にあります。業務は地理情報システムの作成・管理などです。入社してとりあえず一般事務を担当しますが、将来的にはシステム開発もやってみたいですね。

—高校生の皆さんにひと言お願いします。

情報大は出席をきちんと取りますから、まじめに授業に出ることが大事ですよ。そうすればなんとかなる(笑)。

むしろ卒業して何をしたいのか、学生の時から将来の目標を描くことが必要だと思うんです。そうすれば自分が何を勉強したらいいのかわずからわかってきますよ。

—貴重なお話ありがとうございました。

入学しました！

新入生インタビュー！！
資格教育が充実！
フレンドリーなキャンパス！
先輩たちがやさしい！
部活が楽しい！
万全の就職支援体制！

今年もフレッシュな新入生 109 名（男 74 名、女 35 名）が情報大の仲間になりました。授業に、部活に、バイトに……新入生の皆さんはキャンパスライフをそれぞれ思い思いにエンジョイしています。今回もそんな新入生の声をお届けしましょう。

まずは本学情報処理室の中に設置されている「PC クリニック」のメンバーにお聞きしました。

PC クリニックとは、学生の有志による、パソコンやネットワークに関する相談室です。パソコンで困ったらここへ。学生スタッフがトラブルを解決してくれますよ。



▼木村 綾美（きむら あやみ）さん 情報ネットワーク学科

—入学してしばらく経ちました（インタビューは 6 月）。情報大の感想を教えてください。

高校ではやったことのないことを経験できて、ワクワクの毎日です。新入生合宿や仲間作りのイベントなどを通じて、多くの学生とふれ合うことができました。いろんな人たちがいて、いろんな考え方もあって、社会勉強にもなっています。

—情報大の授業はどうですか？

この大学では経営・会計・情報のそれぞれを勉強しますが、初めて見ること、聞くことばかりです。ネットワークや簿記もまだわからないことが多いですね。でもそれだから勉強のおもしろさを感じています。授業では、私のような初心者でも基礎から教えてくれるから大丈夫。パソコンのセットアップのやり方から丁寧に教えてくれたので安心しました。

—高校の授業と大学の授業はどこが違うと思いますか？

高校では先生が教科書に沿って授業を機械的に進めていく感じだけど、大学では先生たちももっと自由で、自分の話したいことを話しているって感じ。自分のプライベートなことを話している先生もいらっちゃって、それだけに親しみを持てますね。

—あなたのようなパソコン初心者が、なぜ情報ネットワーク学科を選んだのですか？

パソコンの高度な知識と技術を身につけて、将来は一人で仕事できたらいいな～って思っているんです。

—PC クリニックのメンバーになろうと思ったのはどうして？

去年情報大のオープンキャンパスに参加したときに、いろんな先生とお話をしました。その時私が、「いっぱい勉強したいし、いっぱい資格も取りたいけどどうしたらいいですか」って質問したら、ある先生が「PC クリニックのメンバーになったら、コンピュータのことをたくさん学べるよ。先輩たちもいるからみんなで楽しく勉強できるよ」って教えてくださったんです。それで、情報大に入学したら



2016 年度新入生の指定パソコンはタブレット型

絶対 PC クリニックのメンバーになるぞって決めました。

—なるほど～。それで PC クリニックのメンバーになってどうですか？

楽しいですよ。ときどきパソコンのトラブルのために学生が来るのですが、私は先輩たちのお手伝いをしています。コンピュータの知識や技術を身につけるうえで、PC クリニックのメンバーとしての経験はとっても役立ちます。PC クリニックの先輩たちはやさしいし、コンピュータだけでなくいろんな授業のことも詳しく教えてくれるので助かっています。

—後ろにいる先輩たちに聞いてみましょう。彼女は誰ですか？

優秀です！メンバーになって間もないので、いまはコンピュータのいろんなことを覚えてもらっているところで



PC クリニックで患者さん？
待ちのときは、ネットワークの勉強を

—木村さんにもう一度聞いてみましょう。今後の目標は？

いっぱい資格を取りたいな～。情報大に入学してコンピュータやプログラミングのことが、今までよりすごく興味が湧いてきたので、もっと勉強して、パソコンでゲームや音楽を作りたいですね。情報の資格だけでなく、簿記にもチャレンジしたいです。卒業まで日商簿記検定 2 級合格を目指します！

—がんばってください。最後に情報大を受験生にすすめるとしたら？

いろいろありますけど…小規模な大学だからみんなの距離感があまりなくて、教職員の方々が学生ひとりひとりを覚えてくれていることですね。キャンパスでは、先生や事務の方からよく声をかけられます。私は人付き合いがちょっと苦手なので、情報大のとてもフレンドリーなところがいいなって思います。

—ありがとうございました。

▼平林 萌里（ひらばやし もえり）さん 経営情報学科
山本 佳奈（やまもと かな）さん 経営情報学科



左から平林さん、山本さん

—情報大に入学して今の感想は？

（平林）オープンキャンパスに来たときにキャンパスの周りの自然が豊かだな～って思いました。入学してみると、キャンパスはとても快適で過ごしやすいですね。

（山本）スクールバスが西鉄太宰府駅と大学のあいだを往復しているので、通学しやすいですね。だから授業には遅刻せずにすみませう（笑）。

—おすすめ授業は？

（平林）「情報リテラシー」ですね。高校ではパソコンの授業は少ししかなかったので、基礎から丁寧に教えてくれるこの授業はとても助かります。まさしく情報大の授業って感じですね。

（山本）この授業のおかげで、いまはパワーポイントやワードの使い方がよく分かるようになりました。

—インパクトのある先生は？

（平林）甘長青先生（教授）ですね。明るくていつもハキハキ。一限目からすごく元気。みんなに気軽に声をかけてくださって、とても親しみやすい先生です。

—情報大に入学した理由は？

（山本）吹奏楽部があることが受験を決めた理由です。特に情報大で屋比久先生にご指導いただきましたからです。

ーお二人の担当楽器は？

(平林) ユーフォニアムです。

(山本) ファゴットです。



ー屋比久先生のご指導の特徴は？

(平林) 怒鳴ったり、怒ったりする指導者ってよくいるんですけど、屋比久先生は違いますね。ほめて伸ばすタイプの先生ですね。

(山本) そう！さらっとアドバイスしていただけます。「こうしてみたら〜」って。やさしいんですよ。



ー高校までやってきた吹奏楽と違いは？

(平林) いままでいきおひだけでやってきた感じ。いまは屋比久先生のご指導の下で、優しい音作りを目指しています。

ー情報大の吹奏楽部のムードはですか？

(平林) 楽しいですよ！上手い先輩がたくさんいて、いい刺激を受けています。

(山本) 吹奏楽の強豪校や他県からも上手い人がずいぶん入学していますね。それだけに新鮮な出会いもあって、高校ではできなかった新しい音楽が作れるな〜って思います。



ー勉強の目標は？

(平林) 資格をたくさん取りたいですね。やっぱり就職活動に有利だから。一年生のうちからがんばりたいです。

(山本) パソコンやビジネス関係の科目をしっかりと学びたいです。情報大はそういう科目が充実しているから、入学して良かったです。

ーありがとうございました。

新入生特集の最後は陸上部の男子三人です。



左から木本さん、井手さん、鍋倉さん

▼鍋倉 正輝(なべくら まさき)さん
経営情報学科
木本 瑞希(きもと みずき)さん
経営情報学科
井手 勤太(いで かんた)さん
経営情報学科

ーみなさんのベスト記録を教えてくださいませんか？

(鍋倉) 100mが11.26秒、200mが22.48秒です。今年の春のインカレ九州大会に参加しました。

(木本) 800m1分58秒がベストです。

(井手) 以前は走り高跳び190cmがベストでした。いまは10種競技をやっています。

ー情報大の陸上部のムードは？

(鍋倉) 高校と比べたら自由ですよ。とにかくやる気次第です。

(木本) 自分の調子に合わせて練習メニューを作っています。

(井手) がんばった分だけ自分に返ってきますね。だから一生懸命練習しようと思います。

ー情報大の陸上部は全国的に見てどうですか？

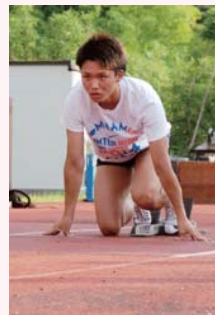
(井手) 高いレベルだと思います。特に先輩たちは全国で十分戦えるレベルじゃないですか。

ー情報大に入学した理由は？

(鍋倉) 先輩たちの多くが消防士や公務員になっているので、情報大に入学したいなあと思いました。将来消防士を目指しているので…

(木本) 自分も消防士になりたいので、先輩からいろいろお話を聞けることが大きいですね。

(井手) 練習のやり方が自分に合っていることも情報大を選んだ理由です。



ー情報大の授業の感想は？

(鍋倉) 簿記に関心があります。高校が普通科だったので簿記は勉強したことがなかったのだけど、情報大の授業では、坂根純輝先生(講師)が簿記を分かりやすく教えてくれるので、自分たち初心者には助かります。坂根先生は若いだけに親しみやすいですね。

(木本) やはり簿記の授業に関心があります。卒業までにぜひ資格を取りたいですね。

(井手) 高校は商業科だったので全商簿記検定(全国商業高等学校協会)を受験しました。情報大では日商簿記検定(日本商工会議所)を勉強しているのですが、やはりレベルが高いな〜って思います。

ー情報大の先生で一番お世話になっているのは…

(鍋倉) やっぱり陸上部顧問の桑野裕文先生(教授)ですね。すごくやさしくて面倒見がいいし、親身になって相談に乗ってくれます。他大学よりも練習施設や道具を充実させようと一生懸命なのが伝わってきます。情報大の陸上部を強くしたいという気持ちで溢れていますね。



ーいまは一人住まいですか？

(鍋倉) (井手) ぼくたちは陸上部の指定寮です。アパートは大学の近くにあって、みんな一人づつ1DKに住んでいます。家賃は水道代込みで1ヶ月25000円、安いでしょ。だけどすごく快適です。一人で住むには十分ですよ。

(木本) ぼくは指定寮ではないけど大学近くのアパートを借りています。家賃は1ヶ月およそ3万円。便利で暮らしやすい環境です。

ー大学生生活の目標は？

(鍋倉) 簿記やITパスポートなど資格をできる限り取りたいですね。部活では200mで全国レベルに達したいです。

(木本) 800m、1500mで自己ベスト記録を出したいです。勉強ではとにかく単位を落とさないようにしたいなあ(笑)。

(井手) 部活については高校時代あまり記録が伸びていなかったの、大学ではリベンジしたいです(笑)。

ー最後に情報大を受験生にすすめるとしたら…

(鍋倉) 資格を取るための授業が充実していますね。就職のバックアップ体制もしっかりしているから入学して良かったです。

(井手) 西鉄太宰府駅と大学のあいだをスクールバスがピストン運行しているから、通学に便利ですね。ぼくはいま足を怪我していて松葉づえを使っているの、特にスクールバスがありがたいです(笑)。



ーどうもありがとうございました。

OPEN CAMPUS 2016 体験型オープンキャンパス開催

自分の未来に新しい発見があるかも！?



7/18(祝) 各日程
10:00~15:00

8/28(日) 推薦指定寮無料
体験宿泊あり(要申込)



全体説明(入試概要 奨学金制度 就職状況 資格取得プログラム)、コース別体験コーナー、学食体験 サークル紹介など

詳細は、本学HPをごらんください。お問い合わせ(体験宿泊申し込み)は入試広報課まで
TEL 092-928-4000 e-mail nyushi@kiis.ac.jp